

美術館に行こう

N・M

みなさん、こんにちは。今回、趣味についての原稿依頼があり美術鑑賞について書かせてもらいます。受傷してからの趣味になります。ここ4~5年は、神戸の病院に受診した帰り、近くにある兵庫県立美術館に寄る事があります。最近では、富岡鉄斎展を鑑賞しました。一般的な感想になりますが、なんとも言えない雄大な山水画でした。かれこれ、この美術館には10回ほど行ったと思います。画家の中には、意図



的な崩し作品や現代アートなど、色んなタッチの傾向や手法の作風があり、上手いのか下手なのか。凡人には到底理解できない作品もありました。ただ、画家の作風の一つ一つに個性が主張しています。

これはなんだろう。どんな意味があるのだろう。正面から見たり斜めから見みたり、距離を置いたり近づいたり他にも視点を変えるだけで気が付く事、作品の雰囲気もガラッと変わるのも面白い所で、鑑賞する側の見方や感じ方も人それぞれです。何度か絵画鑑賞をして思うのですが、見方や感じ方でガラリと変わる。絵画を見る微妙な距離感と人との距離感は似ているような気がします。得てして一つの方向に囚われるなっことですかね。



それでは、兵庫県立美術館について説明します。館内について、館内受付で障害者手帳を提示すると、障がいのある方は各観覧料金の半額、その介護者(1名)も半額になります。建築物は安藤忠雄氏の設計で、コンクリート打ちっ放しの無機質な外構になっていて、私的には、上から光が差し込む地下駐車場からの円形テラスが気に入っています。他にも美術館には見どころが多く、野外エリアは目の前に海もあり、時間がある時や天気の良い日は、のんびりと缶コーヒーとパンを買って食べたりします。昼間と夕方には、景色も変わり時間を忘れ海を眺めてたたずむのもおすすめです。もちろん、1F「カフェ」2F「レストラン」があり車椅子で食事できます。

駐車場について、地下駐車場があり駐車場からエレベーターで館内に移動できます。手動車椅子では大きさも問題はありませんが大型電動車椅子には少しエレベーターが狭く思えました。

最後になりますが、展示作品は、3ヶ月ぐらいのサイクルで変わります。天候に左右される事もなく、空調設備も整っていて美術館は車椅子でも入れるので興味のある方は、近くの美術館へ是非行って見てください。気分転換にはもってこいです。絵のタッチも面白いもので表現の自由は千差万別です。

